

## 研究課題：門脈気腫の画像所見についての後ろ向き研究

### 1. 研究の目的

門脈気腫の画像所見について検出率や予後を検討します。

### 2. 研究の方法

門脈気腫は腸管の障害を示唆する画像所見です。腸管の障害は、外科的介入をしなければ死に至る重篤な基礎疾患が隠れている可能性があります。

- 1) 門脈気腫の検出率について超音波とCTと比較し、超音波の門脈気腫の検出率が優れているかどうかを検討します。これによって、不要なCTを減らすことができます。
- 2) 門脈は、それぞれ、異なる領域の腸管からの血管が合流してできるものでありますが、その異なる血管のどこから気腫が来ているかを観察することによって、腸管気腫の部位が検出できるかを検討します。これによって、門脈気腫の予後に関連する腸管気腫の検出が超音波でより行いやすくなります。
- 3) 門脈気腫を伴った患者において、随伴する超音波所見のうち、何が予後に関連するかを検討します。これによって、迅速な外科的介入が可能になると考えます。
- 4) 2000年9月から2018年3月までにの門脈気腫が疑われ、CT検査もしくは超音波検査を行った患児が対象となります。画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。
- 5) 匿名化の方法として、個人情報分担管理者データは、カルテから転記した時点で匿名化し、研究データを保管するパソコンやHDDにはパスワードロックをかけ、盗難、持ち出し、損壊を防止するための対策を講じます。

個人情報分担管理者 所属 放射線科 職 科長 氏名 田波 穰

### 3. 研究期間

開始時期：2018年5月24日の倫理委員会で承認されてから

終了時期：2018年12月31日

### 4. 研究に用いる資料・情報の種類

画像検査結果、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）

### 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患

者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

## 6. 研究組織

### 研究責任者

所属 放射線科 職 医長 氏名 細川 崇洋

### 実施分担者

所属 放射線科 職 副院長 氏名 小熊 栄二

所属 放射線科 職 科長 氏名 田波 穰

所属 放射線科 職 医長 氏名 佐藤 裕美子

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話：048-601-2200

## 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2018年9月30日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）